

2014年11月23日

報道関係各位

ビール酒造組合
日本洋酒酒造組合

**第13回 未成年者飲酒防止
ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン
7,575点の応募の中から
最優秀賞4作品・学校賞2校を決定！！**

ビール酒造組合(会長代表理事:尾賀 真城)は、当組合の活動の一環として、国税庁、文部科学省、厚生労働省など関係省庁および、全国養護教諭連絡協議会、全国のPTA等の団体のご後援をいただき、日本洋酒酒造組合との共催で「第13回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」を本年6月から9月末日まで実施いたしました。

今回は、全国の中学生・高校生から7,575点の作品を応募いただきました。選考委員会(審査委員長:東ちづる氏)による厳正な審査の結果、中学校・高校のポスター部門から最優秀賞各1作品、優秀賞各2作品、佳作各10作品、スローガン部門から最優秀賞各1作品、優秀賞各1作品、佳作各10作品の計50作品と、学校賞受賞中学校1校、高等学校1校を選出いたしました。



第一ホテルアネックス(東京)で行われた表彰式／2014年11月23日(日)

前列(向かって左より): 篠原ひなのさん、植松美帆さん、長濱貴子さん、中川結李加さん、
荒井朋美先生、横溝玲子先生

後列(向かって左より): 東ちづる審査委員長、尾賀真城 会長代表理事

ビール酒造組合では、2002 年度から「未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」を実施しております。独創性に富んだ作品を制作することにより、未成年者自身が飲酒防止に対する関心を高めるとともに、未成年者飲酒が及ぼす弊害に関する理解促進の一助となると考えております。

なお、各部門の最優秀賞受賞者および学校賞の受賞校を対象とする表彰式を 2014 年 11 月 23 日(日)に第一ホテルアネックス(東京)にて開催しました。当日は、審査委員長の東ちづるさんおよびビール酒造組合・尾賀真城会長代表理事より、表彰状・副賞などが授与され、審査講評をいただきました。

当組合では、今後も本キャンペーンを実施し、未成年者飲酒防止活動を定着させていきたいと考えております。

<尾賀 真城 会長代表理事 挨拶>

私どもビール酒造組合が日本洋酒酒造組合との共催で未成年飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞の募集キャンペーンを開始いたしましてから、本年度で第 13 回目を迎えることができました。ここに至りましたのも、ご後援をいただいております、国税庁、内閣府、警察庁、文部科学省、厚生労働省、それに各学校関係団体や、さらに東ちづる委員長をはじめとして、熱心に審査をいただきました皆様など、関係各位のご支援、ご協力の賜物でございまして、たいへん感謝をし、この場をお借りいたしまして改めて厚く御礼申し上げます。

本キャンペーンの目的は、中学生・高校生の生徒さん自ら、ポスター・スローガンを作成していただくことで、未成年飲酒防止の意味とその重要性について考えていただくことにあります。また、学校賞は、教育活動の一助としていただくべく、実施してまいりました。本年は(ポスター・スローガン・学校賞の)総数で 7,575 点の、非常に沢山の作品の応募がございました。どれも力作ぞろい、という感じで素晴らしい作品が沢山ございましたが、その中でさらに特別優秀な作品を選んで、本日のこの表彰式に至った、ということでございます。

受賞者の皆さんには心から敬意を表しますとともに、お祝い申し上げたいと思います。本当におめでとうございます。

私どもビール酒造組合は、この取り組みを続けていくことに意味があると思っています。この取り組みをさらに充実させ、発展させることを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。

<東ちづる 審査委員長の講評>

受賞された皆さん、関係者の皆さん、本当におめでとうございます。実は最終審査をしている時は、学年も、性別も、名前も、私たちは知らないんですね。そんな中、まさか(受賞者が)ずらりと女性。すごいですね、女子パワー。

(中学生ポスター最優秀賞の)ひなのさんは、描かれている人が女性だったので「たぶん女性だろう」と思ってたんですね。(ポスターに描かれている)女性がストップと言っていたり、お酒を飲むもうとしているのを止めている、というのを1枚の画でまとめていてすごく分かりやすい、ということで大好評でした。そして、実は(高校生ポスター最優秀賞の)美帆さんの作品は、男子生徒かなと思っていたんですね。先ほど美帆さんもおっしゃっていたんですけど、この作品はちゃんとデザインされているんですね。NOという言葉が(作品の中で)うまく表現できていて…うまいね～。

また、(中学生スローガン最優秀賞の)貴子さんの「お酒はあなたが未成年なんて知りません」というのは、沢山スローガンがある中でも、お酒を擬人化しているものは、初めてだったのではないかなと思います。お酒の立場から、あなたが未成年ではないということをお酒は知らない、という。お酒のせいではない、ということがよく伝わるな、と思ったんです。こういう募集をすると、「お酒が悪者」という作品が多くなりがちなんですよね。でもお酒は素晴らしいものです。それとどう付き合うか、ということを考えてもらうきっかけにもなってほしいので、お酒が擬人化されたスローガンは面白いな、ということで決まりました。そして(高校生スローガン最優秀賞の)結李加さんの作品の「ちょっと飲む」という部分。本当に大人がよく使うんですよ。「ちょっといいじゃん」「一杯だけ」とか。私も実は昨日友達のお誕生パーティーで「もう一杯！」って言って三軒行ってしまったんですけど…。また、「飲む？飲みません！！」というのは割とよくあるのですが、“笑顔で”というのが、なかなか無いんですよ。“笑顔で”というところが、爽やかで高校生らしくていいなど。断るのが難しいのを、“笑顔で”断るのがいいなという評価でした。

この未成年者飲酒ポスターやスローガン、学校賞は、本当にやり方が難しいと思うんですね。沢山の作品を見てても、ユーモアがあって、ミステリアスで、爆走してて、、、いろいろな作品が有るんですけど、やはり伝わらないとダメなんですよね。このビール酒造組合は、ビールを中心にお酒を造っている5社が加盟している組織なんですけど、「競合」で、本来ならライバル会社なんです。その方たちが集結して、未成年者を守りたい、正しいお酒の知識を知ってほしい、という素晴らしい取り組みだなと思っています。そんな中で、お酒を悪者にしないで伝える工夫、というのは難しいんですよ。というのもやはり大体は「お酒ダメ」「お酒は悪い」というものが多くなりがちなんです。そういうのは私も個人的にあまり好きじゃないんですね。お酒にまつわる事故とか事件、ありますけども、あれはお酒が悪いのではなくて、人間が悪いんですね。例えば、ナイフとか包丁で殺傷事件があった時に、誰も「包丁が悪い！ナイフが悪い！」って言いませんよね。それと一緒に、どうしても未成年者飲酒とかアルコール依存症などの言葉が出てくると、アルコールの方が問題視されがちですが、決してそうではない、ということも、未成年の時から考えてほしいなと思います。そういった話を、学校賞の2校にはまたお話をしに伺いますので、どうぞよろしく願います。

この審査委員をしていて、今日が一番楽しみな日です。実際に描かれた人達、頑張った人達がどんな人なのかな、と楽しみにしていたので。おめでとうございました。

- | | |
|-----|--|
| ◇主催 | : ビール酒造組合 |
| ◇共催 | : 日本洋酒酒造組合 |
| ◇後援 | : 内閣府、警察庁、国税庁、文部科学省、厚生労働省、(一社)全国高等学校PTA連合会、
(公社)日本PTA全国協議会、全国養護教諭連絡協議会、全国高等学校長協会、
全日本中学校長会、(公社)アルコール健康医学協会 |
| ◇協力 | : 日本教育新聞社 |

ビール酒造組合とは…ビールメーカー5社で構成される特別認可法人です。
日本洋酒酒造組合とは…ウイスキー等メーカー74社で構成される特別認可法人です。

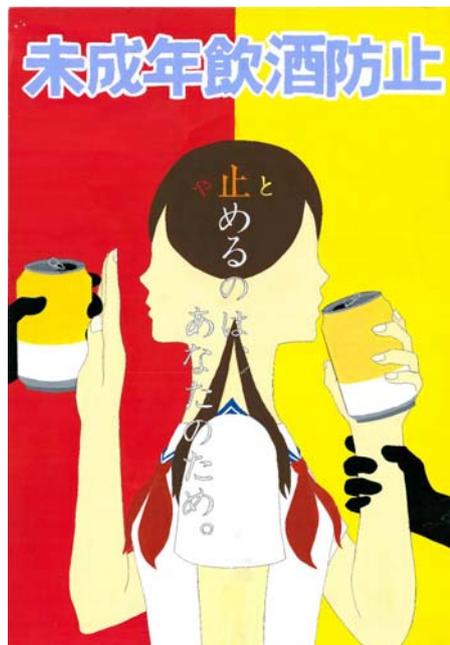
**「第13回 未成年者飲酒防止 ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」
受賞者一覧**

※ 受賞作品はビール酒造組合ホームページ(<http://www.brewers.or.jp/>)からご覧いただけます。

●ポスター部門:中学生 受賞作品

	氏名	氏名ふりがな	都道府県
最優秀	篠原 ひなの	しのはら ひなの	神奈川県
優秀	迫 彩弥	さこ あやみ	鹿児島県
優秀	遠藤 里帆子	えんどう りほこ	神奈川県
佳作	木村 陸希	きむら りき	埼玉県
佳作	福原 杏子	ふくはら きょうこ	広島県
佳作	橋本 栞	はしもと しおり	千葉県
佳作	戸木田 萌	ときた もえ	鹿児島県
佳作	藤田 葵子	ふじた きこ	岩手県
佳作	福島 愛菜	ふくしま まな	埼玉県
佳作	小松 瑞月	こまつ みずき	宮城県
佳作	山本 一葉	やまもと かずは	京都府
佳作	田中 鈴華	たなか すずか	熊本県
佳作	所 秋穂	ところ あきほ	北海道

＜最優秀賞受賞 ポスター＞



【ポスター部門:中学生 最優秀賞受賞作品】篠原 ひなの さん(神奈川県)

●ポスター部門:高校生 受賞作品

	氏名	氏名ふりがな	都道府県
最優秀	植松 美帆	うえまつ みほ	神奈川県
優秀	秋山 朱音	あきやま あかね	東京都
優秀	宮川 茉奈美	みやがわ まなみ	岐阜県
佳作	近藤 かのか	こんどう かのか	愛知県
佳作	瀬瀬 響子	こうけつ きょうこ	岐阜県
佳作	成行 花奈	なりゆき かな	香川県
佳作	大西 眞由	おおにし みゆ	香川県
佳作	飯田 花緒	いいだ はなお	神奈川県
佳作	渡邊 雪乃	わたなべ ゆきの	神奈川県
佳作	深谷 あゆみ	ふかや あゆみ	東京都
佳作	野田 彩夏	のだ あやか	東京都
佳作	肥後 大樹	ひご だいき	鹿児島県
佳作	大平 育歩	おおひら いくほ	岐阜県

<最優秀賞受賞 ポスター>



【ポスター部門:高校生 最優秀賞受賞作品】 植松 美帆さん(神奈川県)

●スローガン部門：中学生

【スローガン部門：中学生 最優秀賞受賞作品】長濱 貴子さん(東京都)

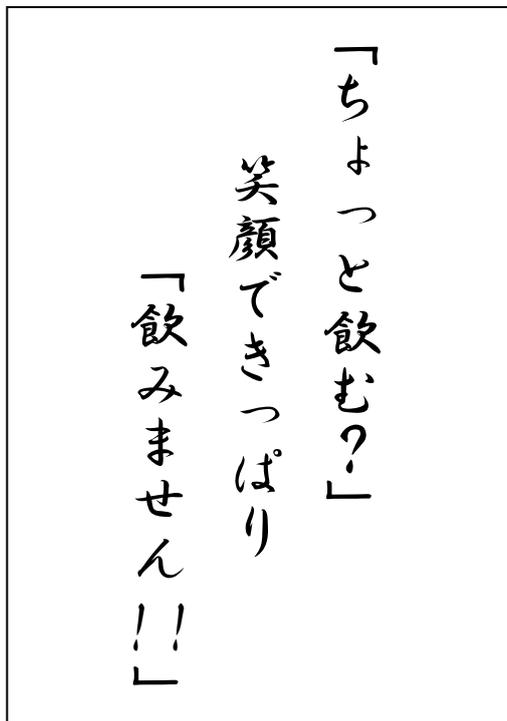
「お酒はあなたが未成年なんて
知りません」

【スローガン部門：中学生 受賞作品一覧】

	氏名	氏名ふりがな	都道府県	スローガン
最優秀	長濱 貴子	ながはま きこ	東京都	「お酒はあなたが未成年なんて知りません」
優秀	渡邊 竜三	わたなべ りゅうぞう	東京都	飲んじゃダメ 大人の気分に 酔わないで
佳作	寺口 久美子	てらくち くみこ	兵庫県	断る勇氣 飲まない気持ち 必ず君を 守ってくれる
佳作	中尾 駿介	なかお しゅんすけ	広島県	飲まないと ちかった心は もう大人
佳作	藤田 まりの	ふじた まりの	青森県	「少しだけ」悪い勇氣は出さないで。
佳作	水木 玲斗	みずき れいと	青森県	「少しぐらい…」そんな軽い気持ちが負の連鎖。
佳作	岡本 彩夏	おかもと あやか	広島県	必要なのは 飲む勇氣より 断る勇氣
佳作	工藤 瑛己	くどう えいき	青森県	考えろ 今のことより さきのこと
佳作	中山 光	なかやま ひかる	茨城県	勧めるより 止める方に まわろうよ
佳作	【一年四組】	いちねんよんくみ	香川県	未成年 飲んで得なし! 飲んで損なし!
佳作	小松 海音	こまつ かのん	山形県	「やめようよ」 その一言で 友達の心も未来も 救うことができる
佳作	下田 秀	しもだ しゅう	千葉県	酒を飲む 未成年の肝臓 機能OFF

●スローガン部門:高校生

【スローガン部門:高校生 最優秀賞受賞作品】 中川 結李加さん(静岡県)



【スローガン部門:高校生 受賞作品一覧】

	氏名	氏名ふりがな	都道府県	スローガン
最優秀	中川 結李加	なかがわ ゆりか	静岡県	「ちよっと飲む?」 笑顔できっぱり 「飲みません!!」
優秀	河野 柚花	こうの ゆず	京都府	「ビールなう」 あなたのツイート かつこ悪い
佳作	外谷 玲菜	とや れいな	滋賀県	お酒を飲む君は素敵? いいえ、ことわる君が一番素敵
佳作	辰野 亮大	たつの りょうた	京都府	「飲まないぜ」ハッキリ言うのが男だぜ 「飲まないわ」強い女もステキだぜ
佳作	宮川 優大	みやがわ ゆうだい	静岡県	興味本位のその一杯で 失わないで あなたの健康 あなたの未来
佳作	大串 涼	おおぐし りょう	東京都	酒飲んで 脳が縮むと 夢縮む
佳作	斎藤 遥香	さいとう はるか	東京都	①ガマンは勝利だ!未成年 ②飲んだら負けだ!未成年
佳作	吉永 晴香	よしなが はるか	宮崎県	想像したことがありますか 「飲酒」が奪う 明るい未来
佳作	小林 知広	こばやし ともひろ	東京都	"ゆ"うじんを "う"しないたくないなら "き"っぱりお酒を断る "勇氣"を持って
佳作	佐藤 藍奈	さとう あいな	千葉県	「絶対に飲まない」未来の自分を守る強い意志
佳作	米村 征隆	よねむら ゆきたか	京都府	万能 STOP細胞で 未成年の飲酒をブロック
佳作	神宮司 心	じんぐうじ つかさ	千葉県	酔うならば 断れる自分に 酔いなされ

<最優秀賞受賞 学校賞>

●中学校

都道府県	学校名	担当者名
広島県	呉市立広南中学校	荒井 朋美

広島県呉市立広南中学校

未成年者飲酒について、生徒が学ぶだけでなく、その学びを地域へ発信する取り組みを行い、「健康の町・絆の町ひろみなみ」に向けて地域貢献を目指した。その推進のため、学校評価委員、駐在所、民生委員など地域の方々にも参加してもらい、地域社会と一体になって活動を行った。

<取り組み内容>

事前に生徒と保護者にアンケート調査を行い、酒に対するあこがれや自転車の飲酒運転の危険性についての認識が低いことが分かった。これを受けて、各学年 2 時間ずつ学校評価委員・駐在・民生委員なども参加し協力を得て、アルコールの健康への影響などを学習した。また、パッチテストを行いアルコールの特性を知り、体質の違いを体感させたり、飲酒状態体験ゴーグルを使って飲酒の危険性を全員に体験させ、アルコールの害について理解を深めさせた。

さらに、学んだ内容を家庭で生徒から家族に伝える「Child To Child プログラム」を行うことで、「飲酒の弊害について親子で話すよい機会になった」と家族からの感想も寄せられた。今後は生徒自身の能力や態度の育成のみならず、地域の健康づくりの一部を担うことができる活動として継続していく。

●高等学校

都道府県	学校名	担当者名
京都府	立命館宇治高等学校	横溝 玲子

京都府立命館宇治高等学校

夏休み前の気の緩みや解放感からアルコールに手を出す可能性が高いのではないかと考え、未成年者飲酒防止プロジェクトを立ち上げた。漫画ポスターやスローガンの作成のほか、飲酒状態体験ゴーグルやアルコールパッチテストの実施、さらには鶏の肝臓を使用したアルコール漬け変化をみる実験、保健だよりや文化祭での発表など様々な取り組みを行った。

<取り組み内容>

事前の生徒への調査でも「ノンアルコールだったら飲んでもいいのでは」「タバコよりアルコールの方がハードルが低い」と考えている実態が明らかになった。そのため、なぜ未成年が飲酒をしてはいけないのかを再学習し、ノンアルコールでもダメだということが分かった。そこから「ノンアルコール・ノン摂取」のキャッチコピーを考案し、漫画ポスターを作成、掲示した。漫画ポスターや保健だよりは好評で、ポスターはよく足を止めて見てくれており、成果を感じた。また、鶏の肝臓を使用した実験では、アルコール漬けにした肝臓が時間の経過とともに白濁し固くなることを観察。アルコールの危険性を学んだ。

さらに、未成年飲酒防止教育に関するセミナーに参加し入手した DVD を活用し、委員会等でロールプレイングを実施。今後もいかに身近に飲酒の機会があるかということを実感させながら、“未成年はノン摂取”の行動が取れるよう教育していく。

<過去応募数・審査結果について>

	応募総数	中学校			高校		
		ポスター	スローガン	学校賞	ポスター	スローガン	学校賞
(第1回)	3,176	(1933)	(672)	(-)	(133)	(438)	(-)
(第2回)	6,495	(3273)	(2241)	(23)	(385)	(564)	(9)
(第3回)	5,408	(3702)	(1131)	(23)	(238)	(310)	(4)
(第4回)	9,981	(4951)	(2936)	(32)	(925)	(1125)	(12)
(第5回)	11,168	(4388)	(4084)	(32)	(630)	(2020)	(14)
(第6回)	8,303	(4801)	(1905)	(16)	(588)	(982)	(8)
(第7回)	9,663	(5132)	(3084)	(54)	(682)	(700)	(11)
(第8回)	10,932	(4524)	(3968)	(38)	(485)	(1908)	(9)
(第9回)	7,846	(4403)	(1519)	(14)	(892)	(1014)	(4)
(第10回)	7,268	(3,568)	(1,982)	(16)	(816)	(881)	(5)
(第11回)	9,292	(3,859)	(3,109)	(18)	(756)	(1,537)	(8)
(第12回)	6,686	(1,956)	(3,257)	(11)	(587)	(871)	(4)
第 13 回							
全応募数	7,575	2,038	3,052	24	505	1,938	17
1次審査	-	66	296	-	54	207	-
2次審査	-	25	17	6	22	22	7
最終審査会	-	13	12	1	13	12	1

「第13回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞 募集キャンペーン」 概要

- ◇名称 : 「第13回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」
- ◇募集内容 : ●ポスター・スローガン部門: 未成年者の飲酒防止をPRするポスター・スローガン
・最優秀作品は、日本教育新聞を通じて全国の中学校・高等学校にポスターとして配布いたします。
・入選作品については、当組合が各種啓発活動において、活用いたします。
●学校賞部門: 未成年者飲酒防止に関する学校全体での取り組み
- ◇応募資格 : ●ポスター・スローガン部門: 平成26年6月1日現在、中学校・高等学校に在学している方
●学校賞部門: 全国の中学校、高等学校
- ◇応募形式 : ●ポスター: ハツ切り(27×38 cm)～四ツ切り(38×54 cm)以内のサイズ
* コンピューターグラフィックスでの応募も受け付けています。(出力サイズ B4または A3)
●スローガン: ハガキ1通につき1作品を記入
●学校賞: 学校賞の応募シートに必要事項を記入
(応募シートは、キャンペーンリーフレットを使用。
またはビール酒造組合、日本教育新聞社ホームページより出力)
- ◇必要事項 : ●ポスター・スローガン部門:
1) 住所(郵便番号) 2) 氏名 3) 年齢 4) 学校名・学年 5) 電話番号
6) 制作活動を通して感じた、「未成年者飲酒」に関する印象および感想
* 作品ごとに、ポスターは裏面に1～6を記入、スローガンはハガキ表面に1～5を、
ハガキ裏面にスローガンおよび6をご記入ください。
● 学校賞部門:
1) 学校名 2) 代表者名(学校長名) 3) 担当者名(教諭) 4) 担当科目
5) 所在地(学校住所) 6) 電話番号 7) 全生徒数
8) 未成年者飲酒防止に関する取り組み
* エントリーシートに上記の必要事項をご記入ください。
- ◇募集期間 : 平成26年6月15日(日)～平成26年9月30日(火)必着
- ◇選考方法 : 厳正なる審査の上、入選作品を決定いたします。
- ◇発表 : 入選者には事務局より直接ご連絡いたします。
また、ビール酒造組合ホームページ上で発表いたします。
- ◇表彰式 : 平成26年11月23日(日) 東京で開催
* 東京での表彰式終了後、平成27年1月に学校賞受賞校を訪問し、表彰式と東ちづるさんによる未成年者飲酒防止に関する講演を行う予定です。
- ◇審査委員長: 東 ちづる氏(女優)
1960年 広島県生まれ。
ドラマ、ラジオ、コメンテーターのほか、講演、エッセイ執筆など幅広く活躍中。骨髄バンクやドイツ平和村などのボランティア活動を20年以上続け、2011年には一般社団法人「Get in touch」を設立し理事長を務めている。主な著書に「わたしたちを忘れないで～ドイツ平和村より」、エッセイ「らいふ」。

◇報 奨 : 【ポスター部門 中学生、高校生】

最優秀賞(各1名)10万円分の図書カード、盾
優秀賞 (各2名)1万円分の図書カード、賞状
佳作 (各10名)5千円分の図書カード、賞状

【スローガン部門 中学生、高校生】

最優秀賞(各1名)5万円分の図書カード、盾
優秀賞 (各1名)5千円分の図書カード、賞状
佳作 (各10名)3千円分の図書カード、賞状

【学校賞部門 中学校、高等学校】

各1校 30万円分相当の商品、賞状、
審査委員長(東ちづる氏)の学校訪問による講演会

◇応募先 : 〒108-0023 港芝浦郵便局留め

「第13回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」事務局

◇詳細 : ビール酒造組合ホームページ : <http://www.brewers.or.jp/>

◇お問い合わせ先 : 事務局電話番号 : 03-5443-1232 (土・日・祝日を除く10:00~18:00)

◇主催および共催・後援一覧 :

主催:ビール酒造組合

共催:日本洋酒酒造組合

後援:内閣府、警察庁、国税庁、文部科学省、厚生労働省、

(一社)全国高等学校PTA連合会、(公社)日本PTA全国協議会、

全国養護教諭連絡協議会、全国高等学校長協会、全日本中学校長会、

(公社)アルコール健康医学協会

協力:日本教育新聞社

<本件に関するお問い合わせ先>

第13回 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン表彰式

広報事務局(電通PR内)

担当:長谷川(080-2022-2262)・山下

Tel:03-5565-8475 Fax:03-3542-5649